

GEOTAIL の 思い出！：初めての衛星開発メンバーでの衛星 PJ

NEC 高橋 今朝人

衛星チームの集いに向けての出筆の題材を考えたとき、私は GEOTEIL が初めて衛星メンバーとして携わったプロジェクトであり、貴重な教訓を得たものであったと思い返しております。

PJ マネージメントを担当された上村さんや、西田先生・上杉先生を始め多くの諸先輩である、宇宙科学研究所の皆様にご貴重な教訓をいただきました。

中でも、上村さんの下で行った射場（JFKSC）試験準備・ロンサイト班、打上げ後の衛星常時電源リセット作業が思いで深いものです。

JFKSCでの GEOTAIL 打上げ準備・現地地上系まとめ、現地スタッフ的なロンサイト班業務を行う際には、事前の用意周到な調査・準備を行えば必ず結果が出る、準備の出来・不出来がPJ全体の成果に直結すること。また、作業を確実に安全に遂行するには、チーム全員の心身の健康維持が大切だということを学んだと思います。

今、思い返すと、上村さんの指示に驚いたことがありました、Cocoa Beach 周辺の状況を先発隊として調査に行ったとき、「射場の作業は計画通りに進む、チーム全員が安全に過ごせるように、主だったレジャー施設へのアクセスや、周辺の危険エリアの調査に重点を置く」と指示され、遠くはキーウエストまでの安全なルート、宿泊ポイントの調査に向いたことがありました。いざ射場作業が始まってみると、この調査準備がチーム全員の健全な生活の維持に非常に役に立ったことを痛感しています。

私自身は、初めての長期海外滞在で結構ポカをやってしまっていて、チーム全員の反面教師になってしまいました。パスポート・PCの入った貴重品鞆が車上盗難にあったり、ガス欠で棟間移動に合わなかったり色々ありました。チーム全員に励まされ何とかやり遂げることができ、懐かしく・楽しい思い出です。

打上げ後、ミッション機器（向井先生担当と記憶しています）が高圧放電により内部の制御ロジックがラッチアップし動作不能になりました。この時、ミッション機器のリセットを衛星システムにダメージを与えずに行う検討が機敏かつ大胆に行われ、衛星が日陰となる状況でバッテリーを切離し、常時電源をリセットする対処施策が採用されました。このときは宇宙研の先生方・衛星システム設計担当共々、大胆な決断を行うものだと、ただ感銘しました。この決断に従い、実際手順・搭載電源部の再起動動作による、衛星へのリスクの軽減の検証実験を C棟で頑張り、その後の処置当日は、臼田宇宙空間観測所運用に参加しました。UDSCで、衛星の常時電源が日陰で段となり、日陰明けの太陽電池の発電で衛星が再起動し、TLM信号送信され、この信号がスペクトラムアナライザーの表示画面に揺らめきながら現れた時の感銘は今でも昨日のこのように覚えています。

西田先生、上杉先生を始め宇宙が各研究所の先生方、NECを退職された上村さん他、GEOTEIL チームの皆さんから、GEOTEIL プロジェクトを通して、頂いた貴重な教訓は、その後の業務に活かされ手だけでなく、GEOTEIL チームの一員として公私ともにご指導いただき、強いきずなどとなって支えられると感謝しています。

特に、横山先生とは、Cocoa Beach でお互い老衰で体が動かなくなる前に GOLF しようとの約

東を果たし、何と GIOTEIL 打上げ 14 周年記念の年から、時間を見つけ GOLF を Cocoa beach で楽しんでおり、19 番ホールでの生ビールが毎年恋しくなっております。

思い出はこれくらいにして、当時の写真や、Cocoa beach で開催した「GEOTEIL 打ち上げ 20 周年記念」の写真の一部を掲載します。

★自宅に飾った思い出の写真

ロゴと色紙写真



ジャンパー姿が私、橋本先生、
現地でお世話になったラリーさん他



★最近の写真



Cocoa beach ゴルフ場の前で (20 周年記念、横山さんと)

★懐かしい当時の写真



サンドキャッスル 大西洋



上村さんと一緒

★ 打上 20周年 食事会 (ロブスタージャンテ Cocoa beach)

